



6月園だより

令和8年6月1日
目黒区立原町保育園園長

新年度がスタートして2か月が経ち子どもたちも保育園生活に慣れてきて園庭や散歩と戸外活動もするようになりました。先日、園庭に出ると3歳児が「園長先生見て」と言って握った小さな手をゆっくり広げていきました。すると中から丸まったダンゴムシが姿を現しました。「わぁダンゴムシだね」と言って一緒に観察しているところごと転がって落ちてしまいました。拾い上げ手のひらに戻しましたが丸まったまま動かさず「死んじゃったのかな」と心配そうに見守ります。しばらくするとともに動き出したので顔を見合わせにっこり、「園長先生もせてみる？」と私の手のひらにダンゴムシを移すと手から腕へと上りはじめたくさんの足を動かして進む姿を楽しみました。そばにいた2歳児もバケツにダンゴムシを入れたり、ミミズを見つけたり都会の小さな園庭ですが虫たちとの出会いを楽しんでいます。「これなんていう虫なのかな」「なんだろう」などの気持ちに寄り添い見つけた虫を図鑑で調べたり、飼育したりして自然とのふれあいの中それぞれの興味関心を広げていきたいと思えます。

先月は、お忙しい中クラス懇談会に参加してくださりありがとうございました。今月も引き続き懇談会があります。どうぞよろしくお願いいたします。



【行事予定】

- 4歳児クラス懇談会
- 1歳児クラス懇談会
- 2歳児クラス懇談会
- 夏祭り（3,4,5歳児クラス）
- 避難訓練

【検診・身体計測の予定】

- 身体計測
 - 歯科検診(全園児)
 - 眼科検診(全園児)
 - 耳鼻科検診(3.4.5歳児)
- * 検診・計測後1週間をめどにアプリに入力します。



屋上のじゃがいもの水やり【5歳児 くすのき組】

くすのき組は、昨年度末ぼくら組の時に屋上の畑に種芋を植えました。

くすのき組に進級して葉が出てきた頃からテーブルのグループごとに水やり当番を決め、週交代で水やりをしています。屋上までの階段は“くすのきしか上れない階段”という特別感を味わいながら2階から屋上までの階段を楽しそうに上っています。5週に1回やってくる当番では、前回来た時と比べて葉が増えたり、葉の背が高くなっていたり、花が咲いていることに子どもたちが気づき、生長を感じ喜んでいきます。大きくなる葉の様子も見て「もうじゃがいもできてるのかな」「どんな風にできてるのかな」「たくさんできるといいなー」と見えない土の中の様子を想像しながら、収穫時期を心待ちにしています。

今後は収穫したじゃがいもをどんな風に調理して食べるのか具体的に子どもたちと話し合いながら、食への興味が広がっていくように関わっていききたいと思えます。



～園庭での遊びの様子（3、4、5歳児クラス）～

園庭で好きな遊びを楽しんでいます。子どもたちが今、園庭で楽しんでいる遊びをご紹介します。



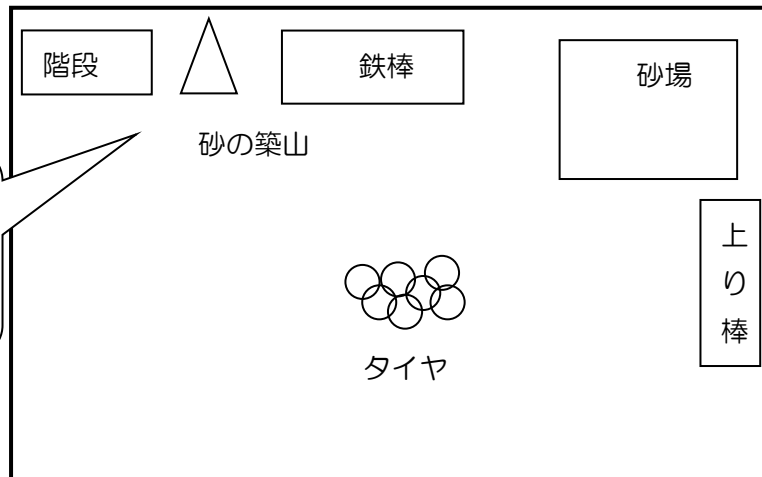
階段の上から縄を吊るして結び、下で待っている友達と一緒にフープをつけて役割を持ちながら、どうしたら吊るせるのか考え遊んでいます。（くすのき組）



広い場所では、短縄を引っ張り合いながら綱引きゲーム。力をどこに込めると相手チームに勝てるのか引きながら考えている姿もあります。（くすのき組）



葉っぱの下にいたダンゴムシやミミズを捕まえ、バケツに入れて観察しています。ダンゴムシが動きだすと「ごはんを食べるのかな？」と何をしたいのかを考えて葉っぱをあげたりしています。（さくら組）



ダンゴムシや蝶などの虫探しや探索を楽しんでいます。

友達の上る姿をみて上ってみたり、タイヤを置いて段差を作り棒につかまってジャンプをして遊んでいます。



レジャーシートやすのこ、バスマットを敷いてお家ごっこ。お母さんやお父さんになりきって日常の再現をしています。（ぼぶら組）



雨どいを繋げて傾斜を作り土を流したり、車を走らせ線路に見立てています。（さくら組）



友達と一緒に、長いシャベルを使い穴を掘って温泉を作ったり、大きな山を作り車を走らせています。（ぼぶら組）